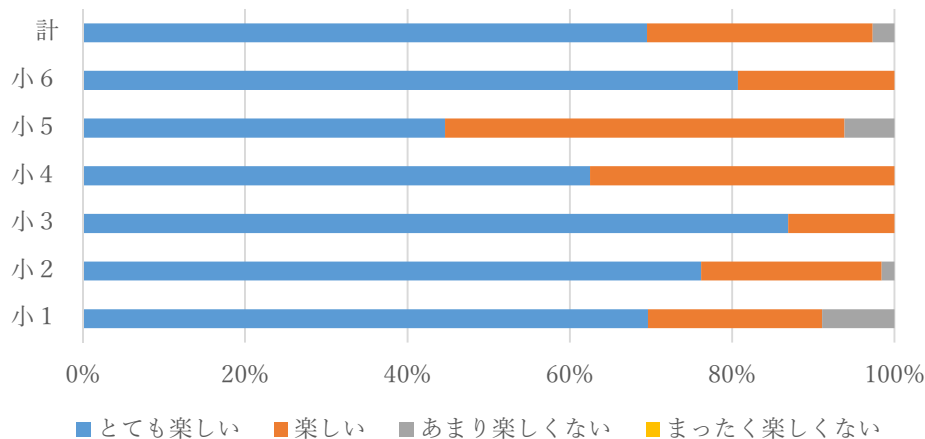


令和5年度外国語科に関する調査結果

天草市立亀川小学校

【児童へのアンケート結果より】

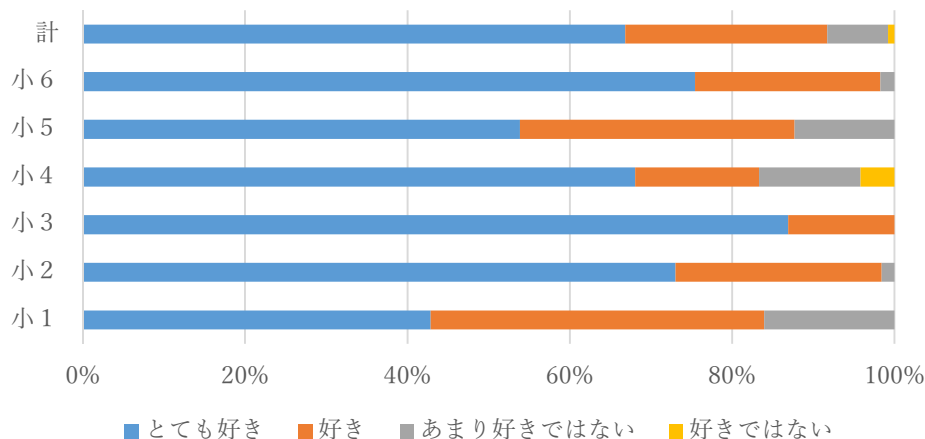
外国語の授業は楽しいですか。



学校全体のうち約97%の児童が、外国語科の授業は楽しいと答えている。児童がやってみたいと感じる単元のめあてを工夫し学習を進めている。

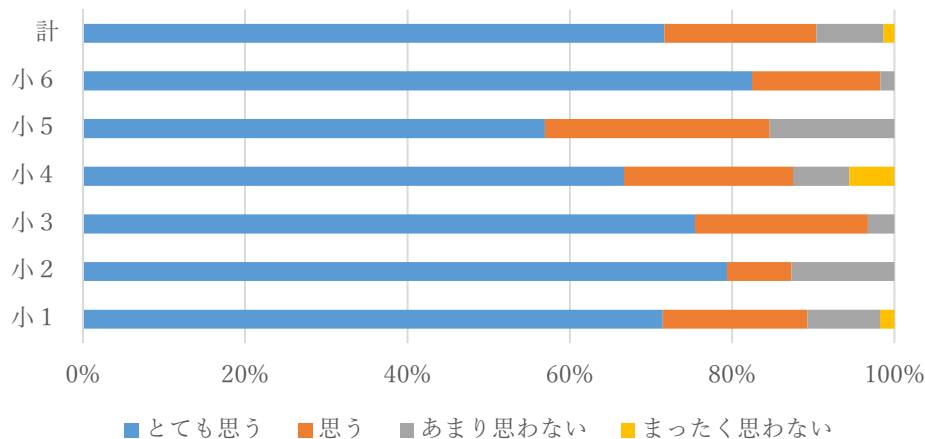
また、授業では、基本本文の定着を図るために、ゲームだけでなくインタビューなどのやり取りや発表などの活動を取り入れた楽しく意欲的に活動できる学習の展開を心がけた。

外国語の授業は好きですか。



学校全体のうち約92%の児童が、外国語科の授業は好きと答えている。外国語科の授業では、帯活動であるコミュニケーションタイムやSmall Talkで教師やALT、友達と交流する活動や、歌やフォニックス、ALTによる文化紹介など様々な活動を展開し、児童の学習に対する意欲を高めている。

英語をもっと話せるようになりたいですか。



学校全体の約90%の児童が、もっと英語を話せるようになりたいと答えている。英語を使って教師やALT、友達と交流する活動だけでなく、熊本県内のほかの地域の学校の友達に自分の住む地域の良さを伝えるビデオを作成したり、同じ中学校に進学する楠浦小の友達への自己紹介ポスター作成等、体験的な活動を通して児童は英語で伝える喜びを感じている。

【保護者・学校関係者から】

- 家に帰ってくると、外国語の授業で習った英語や、授業の様子のことをよく話してくれます。習った英語を楽しんで生活の中でも使っています。発音が上手で、身近に外国の方がいるおかげだと思います。
- 数字や色、食べ物、動物、英語の歌など楽しみながら英語に慣れ親しんでいる子供たちの姿を見て、小学1年生から外国語科の授業があるのは、自然と英話の力が身に付くのでとてもいいと思います。
- 子どもたちは、段階別に楽しく英語を聞いたり、話したり、書いたりして学んでいます。英語への抵抗感があまり感じられません。1年生から当たり前に習っているのも、あまり特別感がないのではないかと思います。このまま成長することで、中学校の英語科の学習にスムーズにつながっていけば嬉しいです。
- 高学年になると外国語の内容が難しいと感じました。最近は英語を書く学習もしているようで、中学生みたいな学習をしているなと思っています。しかし、英語専科の先生や ALT の先生に指導していただいているので安心しています。
- 今後ますます社会はグローバル化すると思うので、今のように小学校低学年から当たり前のように英語を習っていると、将来役に立つと思います。子どもたちは外国の方々に会ったときに臆せず積極的に「ハロー」と英語の挨拶を交わし、会話をしているのですごいなと思います。
- 冬期休業中に行われた英会話教室では、様々な国の文化や行事を学ぶことができた楽しそうに話をしてくれました。授業以外でも外国の文化や言葉に触れる機会があるのは嬉しいです。